

平成20年度 第1回

山梨県考古博物館協議会

平成20年度10月29日(水)
山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資料目次

平成20年度考古博物館経過事業について	
1 展示活動	1
(1) 第26回特別展『埋められた財宝～大形装飾土器、銅鐸、そして埋蔵金～』	
(2) 企画展	
2 学習会、講座など	1
(1) 講演会	
(2) 史跡文化財セミナー	
(3) 考古学講座「財宝埋納の考古学」	
(4) チャレンジ博物館	
(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～	
(6) 縄文土器づくり教室	
(7) 原始・古代の技術体験学習（常時対応）	
3 イベント	3
(1) 第20回風土記の丘こどもまつり	
(2) 特別展関連イベント	
(3) 縄文王国山梨イベント	
(4) こうこはくdeタッチ&トーク	
(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加	
(6) 夏休みフリーパスポートに関するイベント	
4 学芸員実習	4
博物館利用状況	
1 総入館者数	5
2 特別展入館者数	6
3 学校関係利用状況	7
平成20年度考古博物館予定事業について	
1 展示活動	8
2 学習会・講座など	8
3 イベント	9
考古博物館平成21年度特別展・企画展計画について	10
山梨県考古博物館協議会委員名簿	11
山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）	12
山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）	13

平成20年度考古博物館経過事業について

1 展示活動

- (1) 第26回特別展『埋められた財宝～大形装飾土器、銅鐸、そして埋蔵金～』
入館者 3,977人(10月28日現在)

会期：10月1日(水)～11月24日(月) 開催日数55日

会場：考古博物館

概要：列島のそれぞれの時代を象徴する財宝が、埋められた状態で発見されることがある。縄文時代の巨大土器、弥生時代の銅鐸、そして中世には金貨などが、おしげもなく埋められている。国宝26点、重要文化財30点を含む、330点もの歴代の財宝を展示するが、今回は特に、これらの財宝がどのように埋められていたかという点に注目する。巨大土器は、打ち割られ、破片を重ねて埋められていた。銅鐸は横にしてひれを立てて埋められていた。東大寺では、大仏の蓮弁の下に財宝が埋められていた。その社会が至上のものとしてカミに捧げ、あるいはそれが秘めた強大な力を封じたであろう財宝埋納の儀礼の様子を復元し、社会の奥深い部分を垣間見る試みを行う。

- (2) 企画展

春季企画展『甲斐の前方後円墳～その出現から消滅まで～』

入館者 7,173人

会期：年4月26日(土)～6月29日(日) 開催日数57日

会場：考古博物館特別展示室

概要：甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内にある甲斐銚子塚古墳は、東日本を代表する大型前方後円墳である。出土した木製品など、最新調査データを紹介するとともに、それに続く前方後円墳の変遷に注目し、甲斐の前方後円墳の出現から消滅を、発掘調査に基づいた新たな視点でとらえることにより、古墳時代の地域社会の一端を明らかにした。

夏季企画展『縄文時代草創期・早期・前期の出土品』 入館者 4,716人

会期：7月19日(土)～9月7日(日) 開催日数45日

会場：考古博物館特別展示室

概要：江戸時代から時代をさかのぼりながら、その時代を県内の考古資料により紹介していく企画の縄文時代草創期・早期・前期編。縄文時代は長く、また資料も豊富であるため、18年度は後・晩期、昨年度は中期とし、今年度は草創期・早期・前期とした。展示を通して、その時代に生きた人々の暮らしや環境などについて紹介し、身近にある遺跡や地域の歴史に親しんでもらうことを目的とした。

2 学習会・講座など

- (1) 講演会

特別展に関連した話題で、最先端の研究者を講師として招いて講演会を開催した。

事前講座 9月7日(日) 『財宝埋納の考古学』 受講者 11人
当館学芸課長 保坂康夫

特別講演第1回 10月26日(日) 『古代の鎮壇具』 受講者 20人
立正大学教授 時枝 務氏

(2) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めてもらった。

第35回	4月6日(日)	『風土記の丘と中道往還』	参加者	25人
第36回	6月1日(日)	『川田町と旧甲州街道』	参加者	30人
第37回	8月3日(日)	『旧櫛形町と西郡路』	参加者	13人
第38回	10月19日(日)	『埋められた財宝展と風土記の丘』	参加者	42人

(3) 考古学講座「財宝埋納の考古学」

第1回	6月8日(日)	『縄文時代の祭祀と埋納行為』 北杜市教育委員会 佐野隆氏	参加者	15人
第2回	6月22日(日)	『石・土製模造品と埋納行為』 帝京大学山梨文化財研究所 櫛原功一氏	参加者	21人
第3回	7月27日(日)	『埋納行為にみる古代のまつりと儀礼』 帝京大学山梨文化財研究所 平野 修氏	参加者	24人
第4回	8月17日(日)	『中世の黄金埋納』 帝京大学山梨文化財研究所長 萩原三雄氏	参加者	21人

(4) チャレンジ博物館(風土記の丘研修センター)

小中学生を対象に、学校の休業日である土曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよこびを経験できる企画。

第1回	5月25日(日)	『弥生時代の矢じりをつくろう』	参加者	27人
第2回	6月8日(日)	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』	参加者	29人
第3回	7月20日(日)・26日(土)・27日(日)・8月10日(日)	『親子で縄文土器をつくろう』	参加者	150人 (延べ人数)
第4回	10月12日(日)	『縄文時代の土偶をつくろう』	参加者	21人

(5) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

第1回	4月19日(土)	『勾玉とガラス小玉作り』	参加者	21人
第2回	6月7日(土)	『第1回トンボ玉作り』	参加者	10人
第3回	7月19日(土)	『煉香作り』	参加者	8人
第4回	9月20日(土)	『第2回トンボ玉作り』	参加者	3人
第5回	10月4日(土)	『勾玉とガラス小玉作り』	参加者	12人
第6回	10月11・18日(土)	『青銅器作り』	参加者	20人

(6) 縄文土器づくり教室（風土記の丘研修センター）

第1回目 5月10日（土）・17日（土）・31日（土） 参加者 45人

(7) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業；常時対応）

勾玉作り 2,325人

火起こし体験 4,284人

3 イベント

(1) 第20回風土記の丘こどもまつり 参加者 3,849人

5月4日（日）・5日（月） 風土記の丘研修センター内と前庭など
勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、ペーパークラフト、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

(2) 特別展関連イベント

10月12日（日） 『春風亭昇太in考古博物館』 参加者 206人
笑点で有名な噺家春風亭昇太を招いて、趣味の中世城郭の話をまじえながら落語の講演を聴いた。午前・午後2回講演。

9月22日（土） 『ジェントル・ブリーズコンサート
～尺八・シンセサイザー・銅鐸による～』
参加者 169人
銅鐸やはにわ複製品を楽器に加え、パーカッション田中正司、尺八岩間恒、シンセサイザー前田栄子の3人の競演9曲を聞いた

(3) 縄文王国山梨イベント

考古博物館と釈迦堂遺跡博物館、長坂郷土資料館、韮崎市民俗資料館、北杜市埋蔵文化財センター、県立博物館、南アルプス市教育委員会が連携して実行委員会を構成して、スタンプラリーや、共同開催イベントを実施。本年度は、文化庁芸術拠点形成事業で『「縄文女神物語」を現在によみがえらせるミュージアムタウン形成事業』を申請・受託した。

「縄文女神物語」スタンプデザインコンテスト

「縄文女神物語」をイメージしたイラストを募集し、それをもととしてオリジナルスタンプを作成する。小学生を対象に募集し、選定した受賞者のデザインでオリジナルスタンプを作成する。2部構成とし、高学年（5・6年生）には「縄文女神物語」文様全体の構成を課題とし、低学年には「縄文女神物語」に登場する動植物をデザイン化する課題とする。応募用紙を7館管下の小学校に配布し、それをもって各館の「縄文女神物語」展示を見学して、各館の既存オリジナルスタンプを台紙に押し、デザインコンテストへの応募資格とする。応募者のデザイン画は、各館に張り出し展示する。また、デザイン画を掲載した副読本を作成する。

7月19日（土）～11月5日（水）

11月12日（水）入選者選定

1月下旬～2月上旬表彰式

応募者 17人（10月29日現在）

スタンプラリー

開催館すべてに入館し、備え付けのスタンプを集めて応募すると、オリジナル・スタンプセットかミニチュア土器が合計20名に当たる。

7月19日(土)～11月5日(水) 応募者 28人(10月29日現在)

夏休み縄文体験教室

岡島デパート催事場を会場とし、県立博物館の夏休み自由研究プロジェクトと共同で、小学生向けの体験教室を各館分担して実施。

7月26・27日の土日；縄文クッキー、文様写し体験、狩猟体験、木の実割り体験、土偶作り、フェールト・アングイン編み体験、縄文ファッション、縄文ぬりえ
参加者 550人

巡回イベント

6月28日(土) 釈迦堂遺跡博物館 参加者 150人
縄文染め物、土偶作り、狩猟体験、木の実割り体験、縄文ファッション
9月27日(土) 南アルプス市伝承館 参加者 100人
塗り絵・パズル、編布コースター、火起こし、磨石・黒曜石体験、縄文染め物、土偶・土笛作り、狩猟体験、縄文スープ・どんぐりクッキー

(4) こうこはくdeタッチ&トーク

展示室内で出土品を手にとって触りながら、学芸員の解説を聞くイベント。30分程度のトークを1日に4～5回実施。

第1回6月15日(日)『旧石器時代石器のいろいろ』 参加者 25人
第2回7月6日(日)『縄文土器をいっぱい触ろう』 参加者 35人
第3回7月13日(日)『須恵器のいろいろ』 参加者 17人

(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。考古博では粘土片にモデルとして用意した土器片と同じ文様を施す作業を体験するコーナーを出店。

7月21日(月) アイメッセ山梨(甲府市) 参加者 約200人

(6) 夏休みフリーパスポートに関するイベント

パスポートでの入館者で希望者に縄文土器の拓本体験とトンボ玉作りを実施。

『土器の拓本カードをつくろう!』 参加者 365人
『トンボ玉をつくろう!』
7月21・26日、8月3・9・17日 参加者 106人
『古代の火おこし!』 参加者 267人
『勾玉をつくろう!』 参加者 611人

4 学芸員実習

平成20年度学芸員実習を7月25日(金)～8月5日(火)の日程で実施。実習生5名は、遺物梱包・撮影などの実習、展示計画の作成、夏休み縄文体験教室の補助など学芸員のさまざまな活動について学習した。

実習生 5人

考古博利用状況

次の3項目について、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況

総 入 館 者 数

平成20年9月末日現在（単位：人）

年度	開館 日数	常 設 展												特別展	合計	累計		
		個 人		団 体		割引		クーポン		高齢者 身障者	第二・第四土曜日 (H14～全土曜日)	教育課程	招待者	パスポート 利用者			計	入館者数
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高									
57	115	12,017	3,412	6,885	538							4,130	3,705		30,687		30,687	30,687
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981		48,795	8,395	57,190	87,877
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540		40,722	5,239	45,961	133,838
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660		35,628	4,015	39,643	173,481
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651							7,471	3,793		38,106	10,014	48,120	221,601
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951							8,957	2,558		38,880	3,517	42,397	263,998
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667							7,613	3,916		39,554	5,123	44,677	308,675
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982		42,682	5,625	48,307	356,982
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700							10,504	2,807		47,602	6,597	54,199	411,181
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684		44,935	5,789	50,724	461,905
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046							6,807	3,610		40,795	6,174	46,969	508,874
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211							8,164	3,492		40,640	4,591	45,231	554,105
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216					48		7,388	3,708		35,036	6,286	41,322	595,427
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076					11,230	4,422	6,845	3,573		47,962	90,082	138,044	733,471
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089					3,455	1,028	4,908	2,910		30,950	18,483	49,433	782,904
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594					2,633	443	4,125	2,442		25,575	5,195	30,770	813,674
10	290	7,057	1,566	556	5,410					3,596	446	4,166	2,283		25,080	13,165	38,245	851,919
11	288	6,283	1,705	521	4,208					2,339	332	4,409	1,839		21,636	6,812	28,448	880,367
12	288	5,616	1,459	797	2,958					3,201	267	3,919	1,877		20,094	9,227	29,321	909,688
13	292	5,717	1,560	800	2,271					2,517	250	3,683	1,191		17,989	6,035	24,024	933,712
14	289	5,423	1,398	396	2,598					2,670	569	3,397	1,428		17,879	6,373	24,252	957,964
15	290	4,444	1,312	479	2,379					2,887	571	3,465	1,065		16,602	8,127	24,729	982,693
16	298	4,377	1,093	557	1,748					2,397	453	3,519	1,202		15,346	5,064	20,410	1,003,103
17	296	4,432	1,069	307	2,874					3,265	476	3,093	1,039		16,555	5,154	21,709	1,024,812
18	300	4,876	1,222	326	3,543	32	5	0	0	2,844	537	3,145	1,863	35	18,428	4,613	23,041	1,047,853
19	301	17,512	7,004	346	3,482	287	30	38	78	11,546	3,139	4,747	2,070	608	50,887	51,241	102,128	1,149,981
20	152	3,212	1,567	126	3,451	102	34	17	63	1,302	328	2,020	1,105	88	13,415	0	13,415	1,163,396
計	7,630	289,768	85,216	74,676	114,668	421	69	55	141	55,930	13,261	158,201	69,323	731	862,460	300,936	1,163,396	2,326,792

特別展入館者数等

平成20年 10月28日現在

年度	開館 日数	個人		団体		割引	クーポン	年間バス ポート	高齢者 身障者	第二・第四土曜日 (H14～全土曜日)	教育課程	招待者	計	内容(回)
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高									
58	46	2,807	723	1,405	215						1,800	1,445	8,395	土偶展(1)
59	35	1,840	308	926	26						1,194	945	5,239	縄文時代の酒道具展(2)
60	37	1,362	161	832	36						785	839	4,015	山梨の中世陶磁展(3)
61	56	3,232	520	1,065	8						2,585	2,604	10,014	古代甲斐国と畿内王権展(4)
62	29	1,461	274	317	28						571	866	3,517	古代官道と甲斐の文化展(5)
63	28	1,924	242	359	24						1,008	1,566	5,123	古代の装身具展(6)
1	31	1,098	264	616	316						2,522	809	5,625	一粒の粕展(7)
2	36	1,503	242	448	81						3,549	774	6,597	古墳時代が聞こえる展(8)
3	36	1,100	199	350	3						3,318	819	5,789	縄文土器その心象世界展(9)
4	36	2,263	344	414	115						1,903	1,135	6,174	天下人の時代展(10)
5	35	840	101	231	0						2,446	973	4,591	山梨の経塚展(11)
6	36	2,414	534	96	0						1,947	1,295	6,286	古墳時代の甲冑展(12)
7	44	55,623	9,554	1,943	576				10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	黄金の都シカン発掘展(13)
8	32	7,999	1,432	259	219				982	608	2,140	420	14,059	ネアンデルタール人の復活展
	19	1,268	178	92	0				583	125	0	2,178	4,424	新発見考古速報展(14)
9	33	1,683	167	189	0				587	62	737	1,770	5,195	韓国・中清北道の古代文化展(15)
10	44	5,173	883	151	458				1,711	208	1,948	2,633	13,165	遙かなるエジプト展(16)
11	39	1,985	394	166	457				611	87	1,634	1,478	6,812	縄文の旅展(17)
12	39	2,842	383	179	173				1,548	94	1,126	2,882	9,227	中国四川省古代文物展(18)
13	44	1,555	309	205	205				721	92	1,913	1,035	6,035	黄金の輝き展(19)
14	38	1,884	449	274	89				737	142	1,423	1,375	6,373	技と美の誕生展(20)
15	38	1,965	133	126	0				1,257	145	2,227	2,274	8,127	大トルコ展(21)
16	46	1,052	116	285	14				615	81	1,745	1,156	5,064	縄文の女神(22)
17	58	942	167	206	234				828	109	1,805	863	5,154	山の民と海の民(23)
18	51	993	191	115	42	9	0	20	802	83	1,546	812	4,613	甲府盆地から見たヤマト展(24)
19	52	24,231	7,018	498	355	3,876	18	506	9,468	2,507	2,035	729	51,241	世界遺産ナスカ展(25)
20	28	198	35	75	334	621	0	82	450	32	1,372	778	3,977	埋められた財宝展(26)

学 校 関 係 利 用 状 況

平成20年9月末日現在

年度	県 内								県 外								総人数
	小学校		中学校		高 校		計		小学校		中学校		高 校		計		
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	67	5,569	17	1,708	11	538	95	7,815	14,622
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	15,919
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	14,398
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	12,094
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	10,476
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	9,823
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	9,550
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	8,545
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465	0	0	43	2,852	6,771
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540	0	0	33	2,221	5,904
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628	0	0	40	2,562	5,959
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	5,859
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	5,239
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	5,832
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595	0	0	47	3,413	6,558
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474	0	0	49	3,623	8,370
20	31	1,457	10	387	1	176	42	2,020	32	2,662	12	898	0	0	44	3,560	5,580
計	1,076	64,536	199	8,587	58	2,657	1,333	75,780	743	53,574	145	13,230	47	3,335	935	70,139	145,919

平成20年度考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 企画展

『甲府市内の出土品～私の町にもこんな遺跡～』

会期：12月13日(土)～1月12日(月)

会場：考古博物館特別展示室

『新年干支展』

会期：1月2日(金)～2月1日(日)

会場：考古博物館エントランスホール

第6回『わたしたちの研究室』

会期：1月25日(日)～2月22日(日)

会場：考古博物館特別展示室

風土記の丘望見展

会期：2月1日(土)～3月22日(日)

会場：風土記の丘研修センターエントランスホール

『山梨の遺跡展2009』

会期：3月14日(土)～4月5日(日)

会場：考古博物館特別展示室

共催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 講演会

特別講演第2回 11月 2日(日)『縄文時代の埋納行為』
埼玉県立自然の博物館 栗島義明氏

特別講演第3回 11月 9日(日)『銅鐸の世界』
東京国立博物館 井上洋一氏

(2) 史跡文化財セミナー

第39回 12月7日(日) 『古代一宮と鎌倉往還』

(3) チャレンジ博物館

第5回 11月16日(日) 『弥生時代の石包丁をつくろう』

第6回 12月 7日(日)

第7回 3月15日(日)

(4) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

第7回 11月 8・22日(土) 『国宝・重文 土偶作り』

第8回 12月 6日(土) 『煉香作り』

第9回 12月13・20日(土)・21日(日)

『草木染めと原始機織り』

第10回 3月14日(日) 『第3回トンボ玉作り』

(5) 縄文土器づくり教室

第2回目 1月31日(土)・2月7日(土)・8日(日)・21日(土)

3 イベント

- (1) 県民の日イベント(1月20日)
史跡文化財セミナー特別講演会 「国宝東大寺大仏殿鎮壇具の謎」
日本考古学会会長・元東京国立博物館副館長 奥村秀雄氏
ミニ史跡文化財セミナー(銚子塚・丸山塚を歩く)
縄文クッキー試食会
- (2) 古代のもちつき
1月2日(金)・3日(土)
- (3) わたしたちの研究室表彰式・発表会
1月24日(土)
- (4) こうこはくdeタッチ&トーク
第4回 1月25日(日)
第5回 2月 1日(日)
第6回 2月 8日(日)
第7回 2月15日(日)
第8回 2月22日(日)
- (5) 縄文王国山梨イベント
「縄文女神物語」スタンプデザインコンテスト表彰式
1月下旬～2月上旬

巡回イベント
1月下旬～2月上旬 北杜市長坂郷土資料館

「縄文女神物語」スタンプデザインコンテスト応募作品展示
2～3月

考古博物館平成21年度特別展・企画展計画について

第27回特別展

『卑弥呼時代の黄泉世界～上の正方形周溝墓群発掘30周年～』

開催日程 平成21年10月10日(土)～11月29日(日)(休館日なし)

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内に「方形周溝墓広場」として保存・整備された上の平遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて営まれた126基もの大規模な方形周溝墓群として全国的に知られ、山梨における遺跡保存の原点ともいえる遺跡である。1979年(昭和54)の第1次発掘調査から数えて、平成21年度は30年目の節目を迎えるのを機会に、弥生時代の墓制である方形周溝墓を中心とする弥生時代の墓制をとりあげる。

方形周溝墓は、近畿から東海・中部・関東地域にかけて営まれた、弥生時代の墓制である。弥生時代は、中国の地理書『魏志倭人伝』にみえる卑弥呼に代表されるように、祭祀を行いながら集団を率いる首長が現れ、次第にその権力を拡大してゆく時代であり、その様子を墓制にみることができる。

展示では、こうした弥生時代の墓制に示された弥生人の精神世界「黄泉世界」を復元しながら、東日本地域で方形周溝墓が発達する過程を、西日本各地の墓制と比較しながら理解を深め、公園地内に保存・整備された上の正方形周溝墓群の重要性を再認識する機会とする。

春季企画展

「氷河時代のムラとくらし～2万年前の山梨の遺跡～」

開催日程 平成21年4月25日(土)～6月28日(日)

氷河時代の厳しい環境を生き抜いた旧石器時代のムラの姿や、石器作り、狩猟の様子を、当館所蔵の出土品を中心に解説・展示する。

夏季企画展

「縄文土器文様絵巻～展開写真でみる縄文絵画の世界～」

開催日程 平成21年7月18日(土)～9月6日(日)

縄文時代遺跡の宝庫とされる山梨県の出土品の中でも注目を集めている絢爛豪華な土器文様をとりあげ、土器文様を絵巻物のようにひろげた展開写真を実物とともに展示し、通常の視点とは違った縄文絵画の世界を体験していただく。

冬季企画展

「甲府市内の出土品2～私の町にもこんな遺跡～」

開催日程 平成21年12月12日(土)～平成22年1月17日(日)

甲府市教育委員会が30年以上にわたる発掘調査での出土品を展示する企画展の2回目として、最新発掘成果を中心に遺跡の解説や出土品を展示する。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十年十月二十三日～平成二十二年十月二十二日)

区分	役職	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会代表	持田 利雄	社会教育関係 (富士河口湖中央公民館長)
委嘱	山梨県市町村教育委員会連合会代表	宮崎 秀子	社会教育関係 (甲州市教育委員)
委嘱	山梨県PTA協議会代表	三井久美子	社会教育関係 (笛吹市)
委嘱	山梨県国際交流協会代表	李 榮求	学識経験者
委嘱	山梨大学准教授	大隅 清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	谷口 一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齊藤 洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	福田 一夫	学識経験者
委嘱	(財)信玄公宝物館長	田代 孝	公募
委嘱	会社員	湯川 邦夫	公募・家庭教育関係
任命	山梨県公立小中学校校長会代表	大森きよ子	学校教育関係 (身延町立原小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会代表	秋山 教之	学校教育関係 (県立甲府東高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会代表	長谷川義高	学校教育関係 (甲府市立南中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会地歴公民科部会代表	篠原 誠	学校教育関係 (県立日川高等学校校長)

は、新任委員の方です。

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

- 2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。
山梨県図書館協議会
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会
山梨県へき地等教育振興審議会
山梨県特殊教育振興審議会
山梨県立美術館協議会
山梨県考古博物館協議会
山梨県地方産業教育審議会
山梨県文学館協議会
- 3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担当事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

- 2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会、以下同じ)が任命し、又は委嘱する。
- 3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則に定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長1人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第6条第2項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員んが出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。